

総務大臣

片山善博様

熊本市の政令指定都市への移行実現に関する

要望書

平成23年4月26日

熊本県

熊本市の政令指定都市への移行実現について

熊本市は、平成20年10月6日に富合町と、平成22年3月23日には城南町、植木町との合併により、人口73万人の全国でも最大の中核市となりました。

熊本市は、古くから城下町として栄え、明治以降は九州の中央部に位置する地理的優位性と歴史的な文化都市の風格から多数の官公庁が置かれ、九州を代表する行政、経済の拠点都市として発展してきました。

さらに、本年3月12日には九州新幹線が全線開業したことによって、これまで以上に九州における交通の要衝としての拠点性が高まっており、その拠点性を生かした都市基盤整備を一層進めるとともに、高度で専門的な行政サービスをより主体的に展開するために、早期の政令指定都市移行を目指して準備に取り組んでいるところです。

本県としましても、熊本市が政令指定都市としての指定を受け、自治機能を強化して更なる発展を遂げることは、地方分権改革を一層進展させるとともに、本県はもとより成長著しい東アジアとの交流の玄関口となる九州、さらには我が国の発展にも大きく寄与するものと考え、移行に向けた市の取組を全面的に支援しております。

つきましては、熊本市が平成24年4月1日に政令指定都市に移行できますよう、特段の御配慮を賜りたくお願い申し上げます。

平成23年4月26日

熊本県知事 蒲 島 郁 夫